



# 日常の茶の間

〜八つの産地のお茶めぐり〜

- 一、参加店で茶器、茶葉の展示販売
- 一、陶芸メッセ・益子ミニギャラリーと道の駅まじこで茶器の展示販売
- 一、参加店をめぐるスタンプラリー開催
  - 一等 若杉集作 急須 一名
  - 二等 八産地の茶葉セット 十名

古来から親しまれてきた日本茶。

近年ティーバッグやペットボトルなどでお茶を愉しむ傾向が強くなって来ていますが、その一方で、急須などを使い茶葉でお茶を愉しむということが年々減り続けています。

この企画は、現在の茶器、茶葉離れに少しでも歯止めをかけたいという思いが根底にあります。確かにペットボトルやティーバッグ等は合理的で便利なものではありませんが、少し時間があるたまの休日、親しい友人とのお茶の時間には気に入った茶器や茶葉を使いお茶を飲むのもまた良しではないかと思えます。

「まあどうせ」で始まる、身近なお茶の時間を、お気に入りの茶器、茶葉から、そんな事をこの二つの小さな企画を切り口に、改めて伝えていきたいと思っています。

新緑も目に鮮やかな季節。この機会にお茶を飲みながらめぐる益子のシヨートツアーを楽しんでみてはいかがでしょうか。



益子焼  
販売店  
協同組合

期間 平成三十年五月十五日(火)  
〜七月一日(日)

会場 益子焼販売店協同組合店舗  
(裏面を参照して下さい)

主催 益子焼販売店協同組合

協賛 株式会社竹沢製茶(静岡)

汲み出し 一 岩見晋介・急須 一 饗庭考昌

撮影協力 一 陶庫